

平成18年度の主な事業

安全・安心

- 災害対策事業 3,085万円
(地域防災計画、ハザードマップなど)
- 妊婦健康診査事業 605万円

生活基盤

- 情報管理事業(電子申請サービス提供等) 9,588万円
- 道路案内標識整備事業 1,261万円
- 河川管理事業(土砂災害情報相互通報システム整備) 1,877万円

産業

- 農業振興事業 2,299万円
(経営体の育成、地域特性を活かした農業の振興)
- 企業立地促進事業 6,543万円
(ひょうご東条ニュータウン インターパークなどへの誘致促進)

教育・文化・スポーツ

- スクールアシスタント配置事業 224万円
- 図書館蔵書データ一元化事業 808万円
- のじく兵庫国体関連事業 9,710万円

生活環境整備

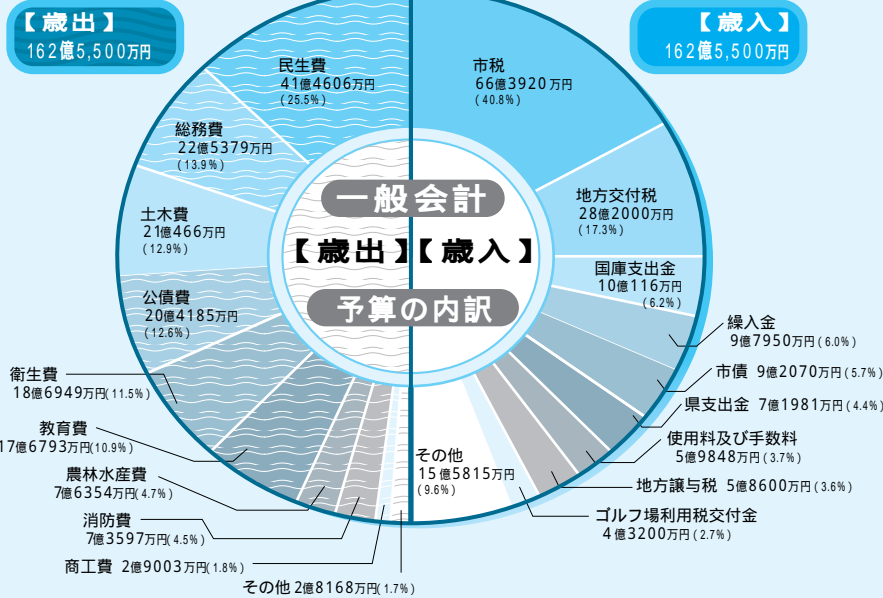
- 廃棄物減量美化対策事業 1,675万円
(生ごみ処理機器の購入補助など)
- ふるさと田園景観創出事業 129万円
(転作田を活用し、コスモスの集団栽培による田園景観づくり)

(は新規事業)

これら三つの重要課題達成のために、「住みよい、暮らしよい、パワフルな加東」をスロガンとして、安全、安心(健康・福祉)の推進プラン、暮らしやすい、生活基盤の推進プラン、ふるさとの魅力とにぎわいの推進プラン、教育、文化、スポーツの推進プラン、自然を守る生活環境整備の推進プラン

この五つの推進プランに沿って、旧三町の継続事業の完成課題の確認に重点を置き、新しい加東市としての制度、基盤づくりの一年とします。

住みよい、暮らしよい、パワフルな加東



~平成18年度は「明日への基盤づくり安定型予算」~

総額 334億8,986万円

(前年度旧3町合計予算比 0.7%減)

三つの重点課題達成に向けて

平成十八年度の予算が市議会に提案され、原案どおり可決、成立しました。

今年度の予算は、地域が育んできた良さを活かし、個性あふれるまちづくりを展開していく、その基盤を創る一年として位置づける内容となっております。

そのために、次の三点を重要課題として、市民のみならず行政が一体となって、ともに考え、ともに行動するまちづくりを進めます。

一 行財政改革の推進

国や県のさまざまな施策による補助金を積極的かつ有効的に活用しながら、施策の展開を図ります。また、事務事業の再編、整理、縮小や業務の民間委託、適正な定員管理など、行政改革を推進するため、行財政改革推進本部を設置し、「集中改革プラン」の策定に努めます。

さらに、これからの地方分権時代に対応するため、市民参画をより進めながら住民と行政が協働・自立できるまちづくりの構築を目指します。

行政サービスについては、親切で、素早く、的確を基本とした対応が大切です。現在の分庁方式は、合併協議での基本方針によるものです。しかし、その

整備計画にあたっては、現状におけるメリット、デメリットを十分に見極めながら、庁舎の統合を視野に入れつつ、合併特例債の活用とあわせて検討していきます。

さらに、加東市民にとって、安心できる医療と福祉システムの充実が大切です。しかしながら、公立社総合病院の経営は、改修計画や診療内容、経営改善などを含めた検討が課題であり、これらには、様々な立場から検証するプロジェクトを発足させ、今後の方針について検討します。

二 安全、安心のまちづくり

ふるさと加東に住む子どもたちやお年寄り、そして多くの人々が、いつも安全に、安心して暮らせる、そんな理想のまちづくりを進めます。

健康で暮らしやすいよう、医療福祉において、積極的な施策の展開を図り、充実した地域社会の創造を目指します。加えて、市民の皆さまが地域文化を愛し、大切にすることを育み、様々なイベントや事業に参画いただけるよう、伝統行事、文化事業の保存やその活動団体への支援をします。

また、地域の安全、安心に対する取り組みとして、生活道路や主要道路をはじめ、防災事業

会計別予算額

区分	項目	平成18年度 予算	平成17年度 合計予算	対前年度比
一般	一般会計	16,255,000	17,139,000	5.16
特別	国民健康保険	3,411,000	3,170,571	7.58
	老人保健	3,592,700	3,591,898	0.02
	介護保険保険事業	2,184,600	2,066,866	5.70
	介護保険サービス事業	528,700	96,391	448.50
	診療所	223,700	223,416	0.13
	下水道事業	1,865,200	1,833,520	1.73
	農業集落排水事業	376,200	315,116	19.38
	コミュニティプラント事業	262,600	271,623	3.32
	計	12,444,700	11,569,401	7.57
	企業	病院事業	2,887,435	2,921,110
水道事業		1,902,725	2,101,195	9.45
計		4,790,160	5,022,305	4.62
合計	33,489,860	33,730,706	0.71	

(注)表中の平成17年度合計予算とは、旧3町を合算した数値です。

三 産業基盤の充実

加東市には、東条湖、清水寺、鴨川の郷、播磨中央公園など、人々の心を和ませる素晴らしい観光資源があります。今後も、観光協会や地域の人々と連携しながら、それぞれの特色を活かしたイベントや催しを計画し、県内外に発信して、地域の活力をさらに増幅していきます。

また、この地域は酒米の産地として、全国的にその知名度は高いものがあります。しかしながら、後継者不足による農家の減少など、課題も山積みとなっています。効率的で安定した農

業経営のため、集落営農組織などへの支援を行うとともに、地域の農産物を活かした特産品の開発など、市民の力による地域活性化を図ります。

さらに、社サイエンスパーク、滝野工業団地のさらなる充実とひょうご東条ニュータウンインターパークの開発による企業誘致と住宅定住の促進を目指しながら、地域の若者にとって魅力ある雇用の場の拡大と商工業の振興に努めます。

加東市の大きな魅力の一つでもあるケーブルテレビ事業については、市民の一体感を創出することが急務であり、早期に全市域の整備を精力的に進め、有利な財源確保に努めていきます。

平成18年 加東市区長名簿

地区名	氏名	地区名	氏名	地区名	氏名	地区名	氏名
社1区	長井英之	沢部団地	稲継紀子	吉馬	松本一憲	西戸	今田耕一
社2区	白井政義	福吉	竹内幸孝	やしら台	小浪宣雄	少分谷	水口逸男
社3区	川崎龍雄	上田	上月尚明	上鴨川	藤井忠弘	貞守	田尻信生
社4区	宮野典郎	大門	蓬萊英隆	下鴨川	森本益盛	長井	橋本圭二
社5区	吉村進吾	西古瀬	友藤和明	平木	藤原幹郎	長谷	東嶋正一
ひらの丘	上野富夫	中古瀬	高見秀人	光明寺	井上正通	黒石	小谷勝
郷野台地	中畑文晴	東古瀬	小紫孝良	上滝野	西村嘉宣	永福台	岡功
大学山国	前芝武史	屋度	服部武司	下滝野	小林満	横谷	梶本幾勇
山国	井上寿弘	東実	山中正孝	新町	大久保榮造	森	田尻克彦
松尾	藤本忠一	畑	中井宏	北野	玉田有志夫	南山	岡本章司
出水	大橋東洋一	廻淵	塩山末男	滝野団地	石井一男	岡本	藤井悦雄
田中	堀内豊一	池之内	赤坂一郎	穂積	神戸治	岩屋	田中稔浩
鳥居	小寺義之	湖翠苑	能戸祥行	稲尾	石川卓良	森尾	廣岡五郎
貝原	吉田猛尚	上久米	大西英彦	曾我	竹内茂樹	新定	石田敏正
野村	宮崎隆夫	下久米	山本邦雄	多井田	土江康仁	吉井	岸本勝芳
西垂水	上月嘉和	久米	石田三男	河高	森岡茂和	小沢	山本信男
窪田	柴垣静夫	上三草	西山進	高岡	志方勉	栄枝	藤原貞明
家原	門脇紀夫	柳井三草	土肥隆史	桜台	榊茂樹	厚利	山本常夫
上中	亀野義詮	下三草	上月寛三良	天神	藤原義典	松沢	藤原進
上中団地	木村龍二	木梨	白井洋治	持鹿谷	柴崎良昭	東垂水	古田敏
梶原	田中弘明	藤田	杉本孝良	黒谷	頼金文雄	大畑	岸本肇
梶原団地	春名明雄	山口	藤原忠一	古家	小池隆夫	蔵谷	近澤良明
喜田	長井俊昭	馬瀬	伊東正勝	常田	豊川学	依藤野	安井秀二
沢部	田中量基	牧野	西山康夫	秋津台	宮永康昌	嬉野東	松田裕司
							大畑嘉孝

氏名欄太字は代表区長(:会長 :副会長)

加東市区長を紹介します

去る五月二十六日、やしら国際学習塾において、市内の九十七自治会の区長(自治会長)で構成する加東市区長会の総会が開催され、吉村進吾さん(社五区区長)を会長とする新たな区長会組織が発足しました。

加東市区長会は、市内の各小学校区単位で選出された代表区長十一人が役員となり、今後の運営にあたっていただくこととなります。六月一日現在の区長(自治会長)は次のとおりです。